

数学 6 前期中間試験 試験範囲

教科書の「第 2 章 行列」の、以下の箇所が試験範囲:

- 教科書 51 ページ ~ 72 ページ, 「§1 行列」全部
- 教科書 77 ページ ~ 79 ページ, 「2.2 逆行列と連立 1 次方程式」のうち, 逆行列の計算に関する箇所

試験範囲は広いように思えるかもしれないが, 行列に関する基本的なことをしっかり押さえておけば高得点を取ることは十分に可能である. 特に,

- 行列の和, 差, 実数倍, 積の計算
- 転置行列, 対称行列, 交代行列
- 階数の計算 (2 次および 3 次正方行列)
- 逆行列の計算 (2 次および 3 次正方行列)

についてはよく復習しておくこと.

毎授業時の演習プリントおよび課題プリントを確認しておくことを勧める.

2011 年 5 月 25 日
藤井 忍